

## 令和4年度 第3回西区区政会議 会議録

1. 開催日時 令和5年1月26日(木) 19時00分から20時55分

2. 開催場所 西区役所4階402会議室

3. 出席者の氏名

伏見 祐子(委員)、鶴原 正子(委員)、奥川 恵子(委員)、平川 優子(委員)、堀内 正敏(委員)、伊達 厚子(委員)、中村 佳世(委員)、細川 清史(委員)、甲斐 純子(委員)、宮地 秀和(委員)、葛目 弘子(委員)、古仲 万代子(委員)、岡野 正敏(委員)、吉野 仁子(委員)、岡田 三佐枝(委員)、谷川 清石(委員)、江戸 実(委員)、橋本 千鶴(委員)、中山 和子(委員)、安井 博規(委員)、山内 憲之(委員)、山本 晃道(委員)、蕭 耕偉郎(委員)、三村 浩也(西区長)、村上 光司(西区副区長)、松谷 康男(総務課長)、森本 恵二(事業調整担当課長)、江原 勝弘(教育担当課長)、折原 裕之(地域支援課長)、大島 一晃(安全安心きずなづくり担当課長)、西村 悦子(窓口サービス課長)、江川 浩子(保健福祉課長)、玉置 信行(子育て支援担当課長)、山中 一弘(生活支援担当課長)

4. 議題

・令和5年度運営方針案、予算案に係る意見聴取について

5. 議事内容

(森本事業調整担当課長)

皆様こんばんは。寒い中ご参集賜りまして本当にありがとうございます。

定刻になりましたので、ただいまから、令和4年度第3回西区区政会議を開催させていただきます。

本日の進行は、西区役所事業調整担当課長森本が担当させていただきます。よろしくお願いたします。

それではまず本日の出席状況でございます。

神田委員、秦委員、吉田委員、塩濱委員、山東委員、竹下委員から所用等により欠席される旨、ご連絡をいただいております。

まだ若干お見えになっていない委員もいらっしゃいますが、現在、定数の2分の1以上が出席されていることから本会は成立していることを申し上げます。

議事に入ります前にお願ひがあります。区政会議は公開が原則となっておりますので議事録作成のため録音をさせていただきます。また、記録用として職員がカメラ撮影を行いますのでご了承をお願いします。

それでは開会にあたりまして三村区長からご挨拶申し上げます。

(三村西区長)

皆さんこんばんは。区長の三村でございます。

本日はお忙しい中、また冷え込む中、夜遅くにお集まりいただきまして本当にありがとうございます。

また平素より、区政及び市政への多大なるご理解、ご協力を賜りまして本当にありがとうございます。

今回が今年度最後の区政会議となります。ここまで将来ビジョン及び地域福祉ビジョンについてさまざまご議論をいただき、一定の結論を得ましたので、区民の皆様幅広くご意見をお伺いするパブリック・コメントを実施中です。本当にさまざまなご意見をいただきありがとうございました。

本日は、将来ビジョン及び地域福祉ビジョンを実現するにあたって来年度1年間の具体的計画となる運営方針並びに予算についてご議論いただきたいと思います。

将来ビジョン及び地域福祉ビジョンと、運営方針及び予算との関係ですが、この二つのビジョンは4年後の区政のめざすべき姿と定義づけています。

運営方針、予算はそのビジョンを実現するための1年ごとの達成すべき計画という位置付けになっています。

この後の部会のグループディスカッションでも素案をご提示させていただきますので、ぜひ積極的なご議論をいただければ、その議論の中では肌感覚のものも含めてご意見をいただけたら、非常にありがたいと思っています。

最後になりますが、この区政会議の場は行政の来年度1年間の動きを決める非常に重要な場と認識をしています。限られた時間ではありますが、皆様方にはぜひ積極的にご議論いただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

(森本事業調整担当課長)

それでは、本日の資料を確認させていただきます。

まずは会議次第、続きまして、資料1-1 運営方針の共通様式、資料1-2 運営方針 具体的取組み内容、資料2-1 令和5年度西区予算算定額、資料2-2 区長自由経費における令和4年度、5年度当初予算比較、資料2-3 区長自由経費予算算定事業一覧、資料2-4 西区予算算定状況、資料3 区政会議事前勉強会委員まとめ、以上、資料はそろっていますか。よろしいですか。

それではここからは、議長に進行をお願いいたします。

(蕭議長)

皆さんこんばんは。九州大学の蕭です。

本日は寒い中、お越しいただきありがとうございます。

早速ですが、先ほどもお話があったとおりですが、本日はこれまで議論していただいた西区の将来ビジョン、地域福祉ビジョンを踏まえて令和5年度の運営方針及び予算について、皆様のご意見をいただく予定になっています。

本日も夜間の会議ですので、8時45分ぐらいをめどとして進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願い致します。

それでは、お手元にある次第に沿ってこれから進めてまいります。先ほど三村区長のご挨拶にもありましたが、本日はより具体的なこれから西区で取り組んでいただく施策について事前勉強会でいただいたご意見を踏まえて、具体的に議論をしていただき

たいと考えています。令和5年度から運営方針の様式も変更がございますので、まず変更の内容について、また運営方針の内容について区役所からご説明をお願いしたいと思っております。

（森本事業調整担当課長）

それでは説明させていただきます。

今、議長からご説明があったとおり、本日は令和5年度の運営方針及び予算についてご意見をいただきます。この後の段取りも含めまして簡単にご説明いたします。

事前勉強会にご参加いただきました委員の皆様には繰り返しのようになりますが15分ほどお聞きいただくこととなりますが、ご辛抱いただきますようよろしくお願いいたします。

まず、運営方針についてですが、令和5年度から大阪市全体で大きく様式が変更となります。まずはこの変更について簡単にご説明いたします。それから様式の変更によっても、資料1-1これが大阪市24区共通様式のもの、資料1-2各区が独自に作成する独自様式の2つに分かれることとなりますので、資料1-1共通様式について私から説明をさせていただきます。その後、令和5年度の予算案については松谷総務課長からご説明を申しあげるという流れになります。

そのあと、7時20分ぐらいからグループに分かれていただき、より具体的に記載している資料1-2区独自様式について、各グループの担当部分を各担当課長から簡単にご説明をさせていただきますとともに、事前勉強会でいただいたご意見を資料3としてまとめていますので、これも材料にご議論いただくという段取りでお願いいたします。

続きまして、運営方針の様式の変更についてももう少し具体的に申しあげます。様式変更の趣旨は、見やすい様式に変えようということです。皆様も実感いただいていると思いますが、これまでの運営方針は区役所が実施していく取組みに加えて、目標数値であるとか達成状況も含めて、全部1つのシートに盛り込んでいたために文字量が非

常に多く、また文字自体も小さく見にくいものになっていました。その改良として、資料1-1は各区共通の様式となっておりますが、これと資料1-2で各区がそれぞれの工夫でより区民にご覧いただきやすい様式を独自で作成する区独自方式の2つに分けることになったものです。

共通様式はいわば概略版のようなものであり、重点的に取り組む課題等について抜粋して記載をしています。

一方、区独自様式ですが、こちらは各区役所が工夫して作成できるとものになっていて、西区では、区役所が実施しようとしている取組み全体を写真も織り交ぜながら掲載して、文字数を減らしまた大きくするという改良をしています。また、これまで盛り込んでいた数値目標や達成状況を一旦省略して、全体としてなるべくシンプルな資料となるようにしました。

省略した数値目標については、4月に令和4年度1年間の事業振返りを実施し、その際に改めて設定したいと考えています。達成状況も1年が経過した時点でどのような様式で表現するか改めてご提示させていただきたいと考えています。

続きまして、共通様式についてご説明させていただきます。お手元の資料1-1共通様式と記載した資料をご覧ください。

冒頭区長からもありましたが、運営方針はこの間ご議論いただいた中期計画である将来ビジョン及び地域福祉ビジョンを達成するための年度ごとの設計図という位置付けです。したがって、基本的にはビジョンとひもづく形となっております。

1ページをご覧ください。大きな構成としては上側の四角囲みにございます「目標」、「使命」、「所属運営の基本的考え方」と、その下側の四角囲み「重点的に取り組む経営課題」これは4ページまで全部で4つありますが、この2部構成となっております。いずれも将来ビジョンから抜き出した記載となっております。

それでは、まず1ページの上の「目標」、「使命」、「所属運営の基本的考え方」についてです。「目標」は「誰もが誇りに思える西区」、「使命」は「安全で安心なまちづくり

に向けたコミュニティ力の向上」など3点で、将来ビジョンと全く同じ記載となっています。

その下の「令和5年度所属運営の基本的な考え方」では、この間のビジョン改定にあたりまして三村区長からもご説明してきたとおり、「町会加入促進支援」、「窓口改革」、「ICTの活用」、この3点を掲げています。

続きまして、「重点的に取り組む経営課題」ですが、全部で4点ありますが、すべてこれまでご議論いただいた将来ビジョンから抜粋したものです。

まず構成から簡単にご説明します。1ページ下側の四角囲みをご覧ください。

一番上に「課題認識」でございます。これは区役所として何をする必要があると考えているのかを記載し、その下、「主な戦略」では、その課題に対応するための具体的な取組みを記載しています。

その下の「アウトカム指標」は成果指標ということになりますが、この成果指標には課題が解決できたのか否かをはかるための指標を記載しています。これも基本的には将来ビジョンと紐づくものです。

最後の「アウトカム指標の達成状況」は、年度末に1年を振り返って記載するものとなっており、現時点では未記載となっています。大体の構成についてはご理解いただけたかと存じます。

それでは、4つの経営課題の内容について、順にご説明をさせていただきます。

1ページに戻っていただき、経営課題の1-(1)地域コミュニティの活性化についてです。「課題」としては、町会加入促進をはじめ、地域活動協議会やその他さまざまな活動主体を支援し、その活動を活性化させる必要があると認識しています。そのため「主な戦略」としては、区民に地域活動に興味を持ってもらえるよう、情報発信を行うこと、特にマンションの活性化に向けた支援の実施、地域活動協議会への支援、またその他の多様な活動主体についても活動の芽が育つように支援をしていくものです。その下の「アウトカム指標」ですが、地域活動に対する区民意識について、これ

は区民アンケートではかるものですが、この数値をこれまでの実績以上に伸ばしていくという考え方で記載しています。

次に2ページをご覧ください。経営課題の2つ目、経営課題1－(2)安全・安心で快適なまちづくりです。一番上の「課題認識」ですが、災害に強いまちづくり、街頭犯罪、交通事故件数の減少を掲げると同時に、福祉・健康の面からも、誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまちづくりの実現を挙げています。そのための「主な戦略」として、防災訓練などの実施支援、青色防犯パトロールをはじめ、地域や関係機関と連携した防犯・交通意識の向上とともに、高齢者・障がい者などに対する住民主体の見守り活動を継続して実施してまいります。その下の「アウトカム達成指標」ですが、防災対策を講じている区民の割合や地域で安心して暮らせると感じている区民の割合を区民アンケートにより測ります。

3ページをご覧ください。経営課題の3つ目、経営課題2－(1)安心して子育てや教育ができる環境づくりです。一番上の「課題認識」ですが、保護者が安心や喜びを感じながら子育てができる環境の充実、学校・地域と立案段階から意見交換を行うことで実情に即した学校支援が必要であると認識しています。そのための「主な戦略」として、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援体制の構築、児童虐待防止のためのこども相談センターとの連携強化、学校支援としては、校長との定期的な意見交換や教育会議において学校や地域のニーズを把握することを掲げています。

その下の「アウトカム達成指標」ですが、子育て環境が整っていると感じる保護者の割合、そして学校及び教育会議委員に対して、区役所が学校の課題解決に寄与しているかどうかをアンケートにより測ることとしています。

4ページをご覧ください。経営課題の4つ目、経営課題3－(1)ニア・イズ・ベターを徹底するための区役所づくりです。一番上の「課題認識」ですが、行政情報を十分に区民に知っていただいたうえで、区民の声が反映される区政を推進する必要があること、親切・丁寧・的確な対応により区民に信頼される窓口対応、区民の利便性を向

上させる I C T の活用の推進を掲げています。そのための「主な戦略」として、区広報紙、ホームページ、S N S などを駆使した情報発信、区政会議委員のご意見の区政への反映、窓口での待ち時間の改善をはじめとした窓口対応の向上、区民がスマホなどを活用して、行政サービスを受けることができるよう取り組むことを記載しています。西区運営方針共通様式の説明は以上です。

(蕭議長)

今説明していただいた様式の変更や具体的な取組み内容について、皆さんいろいろ疑問があるなどすると思いますが、時間の都合上この場での質問をについては割愛させていただきます。後の議論の時間でじっくり質問していただいたり、意見交換していただければと思います。

では、続いて令和 5 年度予算について説明をお願いします。

(松谷総務課長)

お手元の資料の 2 - 1 をご覧ください。資料の上段部ですが、令和 5 年度西区予算算定額として令和 5 年度区長自由経費としまして 3 億 7,057 万円と記載しています。その右横ですが、令和 4 年度予算からの増減として、2,685 万円の増となっています。この予算が増えています、何に使うのか決まっている予算が大部分となっています。詳しくは 1 枚めくっていただいて資料の 2 - 2 をご覧ください。左端の令和 4 年度区長自由経費として 3 億 4,372 万円から、令和 5 年度の当初予算として 15 万円増えて、3 億 4,387 万円となっています。その右横ですが、追加予算として 2,670 万円と記載していますが、内訳としては森林環境譲与税として 1,441 万円とありますが、これは国産の木材を利用して区役所の備品、例えば 1 階の記載台などを買い入れするための国の予算がついたものです。その下の光熱水費として 663 万円とありますが、電力等価格高騰が見込まれるので、区役所や区民センターの光熱水費の高騰分を補填するための予算となっています。その下の保守点検などとして 566 万円とありますが今年度中に区役所内の設備を更新する保守点検費などで予算がついたものです。右端に追加



予算分を合計して令和5年度区長自由経費として3億7,057万円となっています。

資料の2-1に戻っていただいてもよろしいですか。先ほど説明しました運営方針に基づいて予算も四つの経営課題ごとにまとめていますので、その内容を説明します。左上の地域コミュニティの活性化として9,221万円についてですが、主なものとしては区民まつり、二十歳のつどいなどで1,196万円、地域活動の活性化のための地域活動協議会への補助金として2,497万円、区民活動拠点の運営として区民センターの維持管理に3,853万円となっています。昨年度との比で326万円の増となっていますが、その中には先ほど説明しました追加予算である区民センターの光熱水費209万円も含まれています。その他の増加分としては区民まつりなどのコミュニティ育成事業費の拡充や区民センターのトイレ改修経費などの増です。次に、左下の安全・安心で快適なまちづくりの2,358万円についてですが、災害に強いまちづくりでは防災対策として647万円、地域の見守り活動への支援として1,230万円となっています。なお、昨年度比で68万円の減となっていますが、今年度中にコロナ関係の防災備品が整備できましたので、その見直しによる減などです。次に、右上ですが、安心して子育てや教育ができる環境づくりの1,311万円についてです。訪問型病児保育に588万円、乳幼児発達相談等援助事業に344万円となっています。なお、昨年度比で44万円の減となっていますが、こちらも今年度中に4歳児訪問事業の絵本が一定数整備できましたので、購入数を見直したことによる減です。最後に、右下のニア・イズ・ベターを徹底するための区役所づくりの2億4,167万円についてです。広報紙「かぜ」の発行経費などに1,216万円、区役所機能の維持管理費として窓口業務委託費や光熱水費などをあわせて2億2,772万円となっています。昨年度比で2,471万円の増となっていますが、その中には下に記載している追加予算分の2,461万円が含まれていますので、実質的には昨年度と同程度の予算となっています。その他として、資料2-3については、先ほど説明しました資料2-1に記載の事業一覧となっています。また、最後のページの資料2-4ですが、下の囲みのところに区の重点事業と記載しています。

こちらは来年度以降、重点的に取り組んでいく事業です。地域コミュニティの活性化であれば地域コミュニティの活性化のため、地域活動への参加及び町会加入の促進を支援するための事業であるとか、その下の安全・安心で快適なまちづくりであれば高齢者を対象としたスマホ体験教室の開催などの事業を記載していますので、ご一読ください。説明は以上です。

(蕭議長)

説明ありがとうございました。今年は先ほどご説明のあったように運営方針の様式が変更されていますし、予算も若干増えており、いろいろな議論ができそうな感じがします。ぜひこの後活発に議論していただければと思います。では、早速ですがグループ討議を開始したいと思いますので、進行について区役所から説明をお願いします。

(森本事業調整担当課長)

要領は前回第2回区政会議と同様です。事前勉強会と同じく四つのグループに分かれていただき、区役所担当課長から資料1-2運営方針具体的取組み内容についてご説明をさせていただきます。この際、勉強会でいただいた委員の意見を資料3にまとめてありますので適宜紹介させていただきます。委員の皆様から区役所の説明に対してご質問をしていただいたり、事前勉強会でいただいたご意見を材料に、時間の許す限りご議論いただければと存じます。グループの討議は、20時5分ごろまでとさせていただきます、20時10分にはこの部屋にお戻りください。その後、全体での会議を再開するという段取りで進めてまいります。会場については、防災・防犯・コミュニティグループは402会議室、福祉・健康グループは401会議室、教育・子育てグループは5階502会議室、総務・広報グループは501会議室です。恐縮ですが、防災・防犯・コミュニティグループの委員の皆様、机の配置変更をお手伝いいただきますようお願いいたします。移動の際には資料と名札もお持ちくださいますようお願いいたします。説明は以上です。各課長においてはご案内よろしく申し上げます。

＝一旦中断＝

(蕭議長)

では、皆さん戻ってこられましたので会議を再開します。本日もグループごとに議論していただいた内容をこの場で共有をしていただきたいと思います。まず、防災・防犯・コミュニティグループからお願いします。

(大島安全安心きずなづくり担当課長)

防災・防犯・コミュニティグループの報告をさせていただきます。多くのご意見をいただきました。特に防犯の課題では西区も含めて中心区が非常に自転車の盗難が多い状況の中で、何ができるかということでアイデアをいただきました。例えば、鍵を2つ付けることにより盗難が減るという状況がある中で、安いものでいいので区役所として2つ目の鍵を支給する取組みができないかというご意見をいただきました。また、斬新なアイデアですが、西区独自で防犯登録のようなシールを配ることによって盗難の自転車が見つかった時に警察と連携しながら誰のものか分かるのではないかと、そのような独自の施策ができないかというご意見をいただきました。マンションコミュニティに関しては、特に西区はマンション建設が多い状況ですが、建設段階の説明会などで、連合町会長が説明会に赴き町会加入の協力依頼をした時にはうまく進むケースが多いのですが、マンションの規模が小さかったり乱立する中では、説明会を開催するケースが少なく、町会長が率先して、可能な限り説明会を開催するなどの機会を通じて、町会加入促進に向けた依頼を早い段階から取り組んでいくと、一定成果があがるのではないかとご意見もいただいたところです。

また一方で、ワンルームマンションであっても、町会長が地道にその都度オーナー、建築主、住民の方も含めて町会加入のお願いすることによって、1棟ごとや個別で入会される方もいますが、そのような町会加入促進に取り組んでいる地域町会があると

お伺いしました。区役所としてもこのようなご意見を踏まえながら、防犯、防災、それからマンションコミュニティづくり、ひいては町会加入促進に向けた取組みを今後とも進めていきたいと考えています。

(蕭議長)

ありがとうございました。続いて福祉・健康グループからお願いします。

(山中生活支援担当課長)

生活支援担当課長の山中と申します。福祉・健康部会については、資料1-2の5ページの部分についていろいろなご意見をいただきました。

まず、地域における見守り活動の支援については、見守られている方のことをあまり知らないのもう少し情報共有が図れたらいいのではないか、というご意見、地域によっては、民生委員と情報共有しながら見守りを行っているというご意見をいただきました。また、地域福祉活動の推進については、地域でも高齢者向けのスマホ教室などを行っているので、区とも一緒に行っていければというご意見をいただきました。また、在宅医療・介護連携の推進については、在宅医療についてももう少し区民の方に取り組み内容を知ってもらいたいということで、できれば区でも広報してもらえればとのご意見をいただきました。

また、地域の健康づくりについては、最近は積極的にいきいき体操を週2回行っているとか、転倒予防教室などを開催しているところもありますので、そのようなところも区と一緒に協力して実施できればというご意見をいただきました。最後ですが、委員からいろいろなご意見をいただきましたが、このように意見を聞ける場を区として作っていけばいいのではないかとご意見をいただきました。以上です。

(蕭議長)

ありがとうございました。続いて、教育・子育てグループからお願いします。

(子育て支援担当課長)

子育て支援担当課長の玉置です。教育・子育てグループでは、大きく4点についてご

意見をいただきました。その多くが地域との繋がりにも資するもの、西区という町に誇りを持ってもらえるような子どもたちを育てていけるのではないかなど、非常に多角的な視点でご意見をいただきました。

まず、1点目についてです。PTAの活動に関することですが、PTAはいろいろな行事へご協力をいただき、保護者と地域などをつなぐ役割をさせていただいていますが、区PTA協議会を含めて、PTAとの連携についてお願いしたいというご意見でした。それに対して、区役所としてはPTAが保護者と学校をつなぐ重要な役割を担っていると認識をしており、PTAへの支援についてできることを検討していきたいとお答えをさせていただきました。続きまして、2点目です。広報紙かぜを使って、例えば西区にある学校の取組みや部活動で顕著に活躍している子どもを広報紙で紹介すれば、地域の方に学校での取組みや学校のいいところをより知ってもらえるのではないかと、また、それが地域の誇りにも繋がっていくのではないかと、という視点でご意見をいただきました。区役所としては、広報紙は掲載までタイムラグがあり、ホームページの方がタイムリーに掲載できるため、現在はホームページでとりあげている状況ですが、現在のお子様の保護者世代にとってデジタルがいいのか紙がいいのかを含めて検討させていただければとお答えをさせていただきました。

3点目についてです。昨年度の区政会議のグループにおいても議論をいただいたところですが、子育て等に関する情報が行き届かない方に対する情報提供が今どいになっているのかご質問をいただきました。これに対しては、三村区長がICTの改革を掲げている中で、情報が届いていない方にも届くような形で区役所のSNSに力を入れていることを回答させていただきました。

最後、4点目についてです。乳幼児等の検診に関することで、前回のグループ討議でもご意見をいただいていたと思いますが、可能であれば例えば地域で検診を出前でできないかというお話がありました。これに対しては、さまざまな診療科目を分散して開催するのであればドクターの確保などいろいろな課題があることをご説明するとともに、

何かできることがあるかどうかについて検討していることを回答させていただきました。あわせて、ドクターが必要ではない体重測定などの検診を中学校で保健師が参画して実施できないかというご要望もいただきました。これについては、現状では各連合で実施いただいている子育てサロンあるいはつどいの広場において、身体測定のコーナーの日を設けていることをお答えさせていただきました。以上です。

(蕭議長)

ありがとうございました。では最後、総務・広報グループからお願いします。

(森本事業調整担当課長)

事業調整担当森本からご報告いたします。総務・広報グループは、資料1-2の8ページから9ページが議論の対象となっています。まず、いただいたご意見ですが、西区の広報紙についてはデジタルブック音声版など、入口は非常に充実しているとお褒めいただきました。ただし、音声版を見ようとしてファイルが開けなかったのも、その対応方法を知りたかったのだが、何ら記載されておらず結局見ることができなかった、とお叱りをうけています。早急に確認して善処したいと思います。

広報紙については、現在8ページ建てと12ページ建てがありますが、令和5年度から12ページ建ての月数を2回増やして年間4回とし、若干ですが広報紙の紙面を拡大します。それにあわせて、町会の活動についてはなかなか広報できていないところがありますので、そこに取組むべきだというご意見をいただいています。その方法の1つとしてコマーシャルでもありますが、「町会がある時、ない時」のような端的で役所としては少しとがった広報になりますが、そのような新たな切り口も含めて検討してもらいたいという話もありました。ただし、実際に広報する時に、町会が何をしているのか分からないので、まずそこを明らかにするというのも要件の1つ、というご意見もありました。一方、町会が取り組んでいるいろいろな取組みを掲載すると、逆にいろいろなことをしないといけないなら町会に入りたくないという逆のインセンティブが働いてしまうので、そこは考慮すべき点とのご指摘もありました。その視点と

して、区役所が地域活動を紹介する広報を出す時には必ず地域あるいは町会に対してどのような広報がいいのかを諮って欲しい、活動されている皆さんの声を聞いたうえで広報すべきだというお声もいただきました。できるだけそのような形で進めさせていただきたいと存じます。広報紙に関しては配布方法についてもご質問をいただいています。どのように広報紙を配布しているのかということで、1つは新聞の折込みですが、ご存じのようにSNS、電子化の時代にあって新聞の発行部数自体が非常に減ってきていることもあり、区内の広報紙の発行部数も非常に減っています。統計では現在、全戸に対する到達率が45%ぐらいになっています。この数字が高いのか低いのかというところはありませんが、どのような努力をしているのかというと、スーパーで配っていただいたり、区内のマンションで可能なところには置いていただいています。さすがに全戸配布はしていただけないので、マンションの1階部分に設置していただくということをしています。また、その効果検証についてもご質問をいただきましたが、今後の検討課題にさせていただきたいと存じます。

他には、コンビニに設置できないかというご意見もいただきました。過去にも検討した経過があるようですが、なかなか難しいという状況でした。今後の検討課題とさせていただきたいと考えています。

それから、もう1点、区政会議についてもご意見をいただきました。現在、区政会議の構成メンバーは地域からの推薦が14地区の各地区2名で28名、公募委員が4名、学識経験者が1名の計33名で構成されています。ご意見としてあったのが、町会の皆さんは非常にお忙しいのに、そのうえ区政会議委員として負担をかけることについて問題意識があり、もう少し公募委員の枠を広げられないかという趣旨でいただいたと考えています。それから、区政会議委員以外にも区民の方で区政についていろいろな思いをお持ちの方もたくさんいらっしゃるのので、区政会議の下部組織として人数を増やしてもう少し区政に関して議論するような場を工夫できないかというご意見もいただきました。そのようなことについては一朝一夕にお答えすることもできない内容で

すが、今後の検討課題として俎上にあげさせていただきたいと存じます。以上です。

(蕭議長)

どうもありがとうございました。ただいまたくさんのご意見をいただきましたので、皆さんの方でもいろいろご意見やご質問があるかもしれません。少しお時間をとらせていただきますので、ご意見やご質問があれば、お伺いしたいと存じます。山本委員、お願いします。

(山本委員)

堀江3丁目の山本です。いつもありがとうございます。教育・子育てグループを担当させていただいています。そちらでも発言をさせていただいたのですが、堀江中学校の問題が大変気になっていまして、堀江中学校が去年、今の西高校の場所に移転をした後、吹奏楽部は大変強くて、全国大会にいけるのではないかというぐらいの活躍をしているのですが、そのためにはすごい練習量が必要なそうです。マーチングの練習は座学とマーチングがあります。マーチングは校庭でないとできないのですが、それをしたところ、数件だと思いののですが近所から苦情が中学校に届いて、思うように練習ができない。夏休みも元の堀江中学校に戻って練習をしているようなことを聞きまして、頑張ってやっている地元の子どもたちが少しかわいそうだなと思ひまして、これ先ほどのグループ討議でも発言をしているのですが、このようなことはやはり地域の皆さんは、堀江中学校の子どもに「ぜひ頑張ってくれ」と応援をさせていただいている方ばかりだと思ひますが、いろいろな方がおられますので、いろいろな意見もあるのですが、それでも大多数の方が「子どもたち頑張れよ」と応援している地域だということをお我々が声を大にして、いろいろなところで発信していく必要があるのではないかと思います。そういうことを行政にして欲しいというのは少し難しいので、先ほど玉置課長に発言いただいたように、例えば、広報紙「かぜ」を使って、西区の行政が各中学校であったり、小学校であったり、自分たちのこの区内の学校に対してこれだけ興味を示しているということで、紙面を割いて学校の紹介をしたり、またその



活躍している子どもを、ある程度紹介をしてあげるということも大変有益だなと思います。そのようなことを続けていくと、保護者の方も西区の行政に興味を持っていただいて、将来的にはこの西区行政のファンを増やすことにも繋がるのではないかなと思います。また、その子どもたちも地域の皆さんが応援してくれているのだということを実感できる機会にもなるので、ぜひ検討していただいてもし可能であれば、今もうホームページいろいろと紹介されているように聞いていますが、そのようなさまざまなメディアや情報ツールを使って、行政も地域の我々も地元の子どもたちを応援しているよということ、声を大にして、今後推進していただければ、よりよいまちになるのではないかなと思います。以上です。

(蕭議長)

ありがとうございます。教育に限らず、地域のいろいろな課題もしくは活動に対していろいろな思いがある中で、地域の総意として町会なり広報紙なり、いろいろな媒体を通じて発信していくことが大事だというお話だと思います。これも今、ご意見をいただいたように西区役所が主体となって発信するというより、町会が積極的に発信していくというような役割が非常に重要ではないかなと考えています。他にご意見やご質問はございますか。お願いします。

(中山委員)

中山です。総務・広報グループで、資料3の4ページのところ意見をださせていただきましたのですが、先ほど森本課長がおっしゃっていた町会活動の広報について町会活動のメリットを分かりやすく広報紙などに取り上げて欲しいという意見をしました。これはもちろん活動内容もそうですが、特に未加入の方には何故入られないのか、その理由やそもそも町会というものをご存じであるかなど、また、町会に加入の方には何故町会に入られたのかなどを広く聞き取ることも大事だと思います。区民の方にその町会の会費を納めて、それが何に使われているのかが分かりやすくイラストであったり、訴えるものがあればいいと思いました。例えば、その町会費を月500円納める

ことによって、街灯が1個増えますとか、防犯カメラが1個増えますとか、多分そのようなものに使われているのかなと思いますが、そのことが分かりやすく区民の方に周知されれば、自分にも子どもが居るのでカメラがあると安心だとか安全だというように、受益者負担ではないですが、自分ごととして引き寄せられたなら500円というのは納得して払える、と考えてもらえたら嬉しいなと思い意見を言いました。よろしくをお願いします。

(蕭議長)

ありがとうございました。そろそろ時間となりましたので、他にないようでしたらこれで質疑を終わりにしたいと思います。たくさんご意見をいただきましてどうもありがとうございます。最後に改めて今日の議論を整理させていただきたいと存じます。まず、防犯・防災・コミュニティグループについてですが、まず自転車等盗難については、鍵を区で新たに支給したり、防犯シールを独自で作ったりというようないろいろな区独自の対策を考えられるのではないかというような話があったと思います。それから今までずっと議論されてきたマンションコミュニティの町会加入についてですが、これからは大小規模に関わらず、ワンルームマンションにおいても小規模のマンションにおいても、個別なり全体での説明会をぜひ町会の方々でも積極的に事業者へ働きかけ、開いていただければいいかなと考えています。

福祉・健康グループについてですが、この見守り活動については、この見守られている側の情報は町会の中でもうまく伝わっていないということがあるかと思うので、今後は見守られている側の本人の了承をえたうえで、もう少し町会の中でも情報共有をしつつ、町会を中心とした地域における臨機応変に支援やサポートができるような体制を構築していただければいいかなと考えています。

それから、スマホ教室についてですが前回の区政会議の後、すぐに新たに活動が開始されていたり、いきいき体操も週2回に増えていたりなどいろいろな地域の中での地道な活動が成果を見せているようなところですが、まだ十分に活動に参加できていな

い区民がいるような状況がある中で、やはりもう少しいろいろな活動についてさまざまな意見交換ができる場をこれからぜひ構築していただければいいかなと考えています。

教育・子育てグループについてですが、これも先ほどの連携の話にも関連するのですが、PTAを中心に区役所ともう少し具体的な連携をこれからぜひ築いていただければいいかなと思います。

続いて、広報紙「かぜ」についてですが、本日は多くのグループでこの広報紙について多くの議論がなされましたが、せっかく今回紙面の拡充がありますので、もう少しそれぞれの校区の学校の自慢、わが校自慢のような形で、もしくはこれから学校や保育園などへの入学・入園希望の保護者が応募するにあたって校内・園内風景が分かる写真を具体的に載せていただくことによって、もう少し分かりやすくビジュアルで伝えていくような工夫も必要になってくると考えています。

それから、保護者もなかなか紙面だけでは伝わらない場合があったりすると思いますし、最近は新聞折込を取っていない若い世代も結構増えているような状況ですので、ホームページや一部デジタル媒体を通じての配信もますます重要になってくるのではないかと考えています。

これに関連しますが、情報が行き届かないお母さんに対して、ICTの改革を区で掲げていただけていますが、LINEとかFacebookを通じての配信が浸透してはいると思いますが、実際どのくらい情報が伝わっているかについての把握は区でも限界があると思います。したがって、ぜひ、皆さん、ママ友同士であったり、PTAのネットワークの中できちんとお母さんに情報が届いているかの確認をぜひ皆さんでしていただければいいかなと考えています。

乳幼児健診については、前回の区政会議においても議論がありましたが、出前検診や地域巡回という形をぜひ整備していただきたいと思います。しかし、お医者さんの確保は大きな課題かと思っておりますので、人的資源と相談しながら可能であれば進めていた

だきたいと考えています。

最後に、総務・広報のグループについてです。せっかく 12 ページ建てを年間 4 回配布する形に拡大しているので、ぜひもう少し効果的に配布していただければと考えています。先ほど、中山委員からお話があったとおりですが、まだ町会活動を分かりやすくイラストつきであったり、町会費を活用した街灯を設置した写真であったり、具体的にここは良くなったと分かるような写真などを載せることにより、具体的に「町会に入るとこういういいことがあるよ」ということをもう少し広報紙を使って宣伝していただければと思います。それから、先ほども議論がありましたが、最近はそもそも新聞紙を取ってない人が結構増えているので、せっかくこんなに素晴らしい広報紙を作っても届いていないともったいないので、どれくらいの人に読まれているのかという実態をこれからぜひ把握していただきたいと思います。例えば、広報紙に QR コードをつけて、この QR コードを読み込んでいただければ、広報紙に関してのアンケートが回答できるページにとんでいき、お住まいの地域から広報紙に対する満足度、広報紙についての意見をタイムリーにお伺いできる体制を作っていただいて、具体的にどれくらいの人がこの広報紙を読んでいるかというようなことを把握していただければと考えています。これに関連しますが、広報紙がどれくらいの人に読まれているのかということは大事ですが、実はいろいろな意見があるのにきちんと区に伝えられていない人もたくさんいると思いますので、先ほどもいろいろな活動について意見交換をする場を設けることを申しあげましたが、一般の区民や区政会議に参加できてない他の町会の方々の意見を吸い上げる会議体であるとか、いろいろな情報伝達の場を整備していただきたいと考えています。いろいろとまとめさせていただきましたが、今日の区政会議の目的は皆さんがご議論いただいた内容を踏まえてこれから具体的に区の施策に反映していくことになっていきますので、区役所ではぜひ今まとめさせていただいた議論を踏まえて、運営方針に反映していただければと思います。

(森本事業調整担当課長)

議事進行ありがとうございました。

本日は活発な意見交換と議事進行にご協力を賜りましてありがとうございました。まだまだ、ご意見を伺いたいところですが時間がまいりましたので、最後に三村区長からご挨拶申しあげます。

(三村西区长)

本日は遅い時間までご議論いただきまして本当にありがとうございました。各グループを回らせていただき議論の様子を拝見しましたが、普段の身近な話題から問題意識を感じていることまでご意見いただきました。皆さん積極的にご発言いただき本当にありがとうございました。また、私の印象に残るようなお言葉がいろいろとありました。先ほど、山本委員がおっしゃった「西区行政のファンをもっと作ってください」というようなお言葉については「ああ、なるほどなあ」そして、「やはりそうしたいなあ」と強く感じた次第です。そのように1人でも西区のファンになっていただけるような方を増やせるようにぜひ頑張っていきたいと思います。

少し会議の振り返りをさせていただきますと、山本委員のお話にあった堀江中学校の吹奏楽の件ですが、移転して新しい学校の近隣からやはりうるさいというクレームが出て、校長先生によると、現在の場所では迷惑をかけているので分散しようとして旧校の方に戻って練習しようとしたところ、「なぜ移転したのに元の場所に戻って練習しているのか、部活動がうるさい」という声があったという状況のようです。おそらく、少数の方だとは思いますが、なかなかご理解いただけない方が何人かいらっしゃるという状態です。このような状態はある程度やむを得ないのかなとは思いますが、なぜそのような声が出るかというところ、堀江中学校の吹奏楽部がどのような活躍をしていて、どのように生徒たちが頑張り、学校がどのように支えて指導しているかをあまりご存じないのか、知る機会がないことにもう1つ大きな原因があるのかなとも思いました。今日お話を伺いし、そのような広報活動を行政でしっかりやっていくことが、地域の子どもたちが安心して勉強したり活動したりということに繋がっていくのではない

かと改めて感じました。今日の会議でも広報紙「かぜ」の活用をはじめ、広報のあり方に多くのご意見をいただきましたので、皆様方からいただいた声を少しでも反映できるような形で、できる限りの改善を行っていきたいと思います。しかし、広報紙の部数を増やすとコストがかかりますので広報紙だけではない広報をしっかりと考えていきたいと思っています。現在、区の広報担当で取り組んでいますが、Y o u T u b e やその他のS N Sを活用した広報を進めていくのと同時に、S N Sをみていただけるように努力し、ご高齢の方へのスマホ教室もこれから定期的を開催していこうと思っています。日頃からいろいろな場で「L I N Eの友達になってください」とか「T w i t t e rのフォローしてください」ということを意識をお願いしているのですが、そのような機会をもっと増やしていきたいと思っています。このような形でS N Sを活用していくことに加えて、他のグループの討議で、「地域には活動したい人はもっともっとたくさんいるのではないか」というお話がありました。地域振興会の皆さんにお伺いすると、メンバーがいらないというお話になるのですが、N P Oや企業であるとか、その他の個人の方と話をしていると、「地域の活動に参加したい」という方は、結構たくさんいらっしゃるというのが私の実感です。私もまだ着任して10ヶ月足らずですが、活動している中でさまざまなお声をいただいてきました。「何かに参加したい」、「協力したいのだけどどうしたらいいか分からない」という声が非常に多いので、そのような声を受けとめて何らかの活動に入ってもらうことについて工夫していきたいと思っています。韮公園の近くに知育玩具を扱っている会社がありますが、その会社とは今まで接点がなかったのですが、あるイベントがきっかけで社長と知り合い、区内の子どもたちのために知育玩具600個の寄付をいただきました。他にも、全国的に展開されている専門学校から何か西区の役に立ちたいとお申し出いただき、教育のプログラムに参加していただくことになりました。そのような方々がたくさんいらっしゃるのです、ぜひ区に関わっていただくとともに、今ある町会をはじめとした各種団体とのワークをぜひ図っていきたいと思います。何の関係もないところからいきな

り連携するのはハードルが高いところもあるようですので、そのきっかけづくりもしていきたいと思っています。

区政会議委員の皆さんを含め私が接点を持てる方には行政情報をお届けでき、また皆さんの声をお伺いできるので、そのご意見を区政に反映できます。しかし、そうではない方々もいらっしゃるので、SNSを活用してコミュニケーションをとっていききたいと思っています。このように対面でお話をする方々とSNSなどを通じて非対面でコミュニケーションする方々と、とにかくいろいろな形でコミュニケーションをとれる機会や人を増やすということに取り組んでいきたいと考えています。風呂敷を広げ過ぎてもどこまでできるか分かりませんが、限界を決めずにやるべきことはしっかりやっていきたいと思っています。先週の事前勉強会のご意見を拝見しても、そうすることにより、お互いのコミュニケーションを強化することで、将来的に見守り活動や防犯・防災の活動が厚くなっていき、安心・安全なまちに繋がっていくのではないかと私は思っています。そのようなところを一生懸命強く築いていきたいと思っています。試行錯誤の連続だとは思いますが、ぜひ皆様方にはご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

それから、私は町会加入を増やしたいと、加入率を上げたいというお話をさせてもらってきました。この12月に地域アンケートをとらせていただきましたが、加入率が若干上がったという結果になっています。これまで何年間も加入数、加入世帯数が減っていたのが、何とか底打ちできたという状況です。これも地域の皆さんが活動をしていただいたおかげだと思い感謝しています。ただ、ここで終わりではなくもっと活動していきたいと思っています。

それから、本日の区政会議には23名の委員が出席していただいています。今年度では一番多い人数ですが、このような会議で話を聞こうとか意見を言おうという意識を持っていただいた方が増えてきているのであれば嬉しいなと思っています。どんどん行政の中に入ってきていただき、いろいろなご意見をいただきたいと思いますのでよ

ろしく申し上げます。

区政会議委員の任期は2年であり、次回の会議が現在の任期では最後の会議ということになります。次回も有意義な会議にしたいと思っておりますので、ぜひご都合が許せばご参加いただき活発にご議論いただければと思います。本日はお忙しい中長時間にわたり本当にありがとうございました。

(森本事業調整担当課長)

長時間にわたりご意見を賜りありがとうございました。本日の会議でのご意見やご提案につきましては、区役所で精査をさせていただいたうえ、反映すべきものは、令和5年度運営方針に反映し、4月には西区のホームページや広報紙で公開させていただきます。次回令和5年度の第1回区政会議の日程は5月頃を考えています。できるだけ早くメールなどでお知らせしますので、よろしくお願いいたします。それでは、以上をもちまして、令和4年度第3回区政会議を終了いたします。ありがとうございました。